

京都府立医科大学「京都府立医科大学における女性研究者支援の取り組み」

京都府立医科大学は、140年余りの歴史を誇る全国でも最も古い医科大学の一つである。診療及び最先端の研究成果を地域医療に還元するという基本理念のもと、数々の実績を残してきた。本学医学科学生の女性比率は近年おおむね25%を超えるが、医学科女性教員比率は9%前後に留まる。しかし、医学科大学院生の女性比率が25%を維持し、総合大学の医学部に比し高率であることから、女性医学研究者育成機関としての潜在的可能性は高い。

そこで、女性医学研究者支援体制を構築し、その能力を最大限に発揮できる環境整備を行うことにより、女性医学研究者の育成・増加を図り、ひいては医学研究全般の水準の向上に資するよう、女性も男性も働きやすい職場を目指し全学体制の取組を展開している。

【女性研究者支援の体制】

学長直轄の体制として、平成22年7月に男女共同参画推進センターが設置され、運営委員会により本計画の具体的な支援策と運営方法等を決定し、事業を実施している。また、女性研究者ネットワーク化に向けての取組みや相談窓口の開設によりキャリア形成、出産・育児と研究活動との両立、国内外への留学などへの相談による支援を行っている。さらに、本学男女研究者等及び事務職員で構成する4つのワーキングにより具体的な活動を行ってきた。

「女性研究者支援モデル育成」プログラム終了後も、大学独自の取組として、女性研究者支援・男女共同参画推進を継続実施している。

主な取組は次のとおりである。

【具体的な取組】

- ① **広報・啓発活動**：シンポジウムやフォーラム等の開催、HP、ニュースレター、講演録、パンフレットの作成を行った。また、活躍中の女性研究者へのインタビューを行い、国内外のロールモデルをHP上に提示している。相談窓口も活用されている。
- ② **病児保育室の開室・運営**：育児支援としての病児保育室について、設置場所、間取り、開室時間等ワーキングでの検討を重ね、全学あげての尽力・協力により平成23年7月に開室し、運営を行なっている。平成25年度の登録研究者は102名、登録児数154名、利用児数延べ463人にのぼり、年々利用者は増えている。また、学部学生の病児保育に関する臨床実習も行っている。さらに平成24年11月からは「病児保育地域スタッフ（保育士）」を組み入れたサポートシステムを整備することにより、柔軟に対応できる保育体制をとっている。
- ③ **在宅支援**：出産・育児期間中の女性研究者に対する在宅支援策として、学外から学内ネットワーク経由でデータベース（医中誌Web版等）にアクセスできるシステムを整備。在宅での研究や会議出席等を支援するためのテレビ会議システム(Vidyo)の運用を行なっている。また、メーリングリストにより、情報の周知・共有を図っている。
- ④ **就労形態検討**：女性研究者が子育てや介護のために研究をあきらめたり、離職したりすることのないよう、両立支援等の研究環境整備として、時短勤務など柔軟な勤務体制のフューチャー・ステップ研究員（短時間非常勤勤務）の試行を平成24年度より行なっており、平成26年度には応募を男性にも広げ5名を採用した。また、育児等研究時間に制約のある女性研究者に対する研究支援員雇用事業を行い、平成23年度は10名、平成24年度は11名、平成25年度は3名、平成26年度は5名が利用している。

【連絡先】 京都府立医科大学男女共同参画推進センター
TEL/ FAX : 075-251-5165 E-mail : miyako@koto.kpu-m.ac.jp
URL : <http://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/>



京都府立医科大学における女性研究者支援の取り組み

京都府立医科大学男女共同参画推進センター

本計画の究極の目標は、男女共同参画社会の発展と医学研究の発展である。

京都府立医科大学医学科学生の女性比率は近年おおむね25%を超えているが、医学科女性教員は全教員の約9%に留まっている。この医学科大学院生・学生の女性比率は総合大学の医学部に比し高率であることから、女性医学研究者育成期間としての潜在的可能性は高い。

そこで女性医学研究者支援を全学体制で推進するため、平成22年7月に男女共同参画推進センターを設置し、3名の女性教員の兼任及び専任職員を配置するとともに4つのワーキングを設け、女性研究者の能力を最大限に発揮できるための環境整備や意識改革の取組を展開している。

これまでの取り組み

- 男女共同参画推進センターの設置・運営
- 外部女性客員講師の学部教育への導入
- 女性医学研究者等支援相談窓口を設置
- 医学科卒業生就業状況調査の実施

広報・啓発WG



- フォーラム等の企画・開催
- HP 運営
- 相談窓口担当



保育室WG

(病児保育室運営委員会)

- 病児保育室の運営
- 病児保育室を軸とした子育て支援・教育研修



在宅支援WG

- 女性支援ネットワーク
- 文献オンラインシステム
- テレビ会議システム運営



就労形態検討WG

- 勤務体制・採用枠拡大に向けた制度設計
- フューチャーステップ研究員・研究支援員の採用



実施体制

